

# 統合報告書2021 目次

丸紅グループの歩み	1
丸紅グループの価値観	2
<b>6 CEOメッセージ</b>	
	
<b>12 価値創造の道筋</b>	
丸紅グループの価値創造ストーリー	14
中長期的な企業価値の向上に向けて	16
中期経営計画の振り返り	18
丸紅グループの在り姿と、中期経営戦略GC2021の推進	20
CFOメッセージ	24
	
<b>29 特集：変わる丸紅</b>	
投資規律の徹底による投資精度の向上	30
次世代事業開発本部の取り組み～爆発的な成長に向けて～	34
CAOメッセージ	36
GC2021グループ人財戦略	37
CDIO・CSOメッセージ	42
DX戦略の推進	43
コーポレート・ガバナンス	46
	
<b>48 サステナビリティ</b>	
CSDOメッセージ	50
サステナビリティにおける重要な課題(マテリアリティ)	51
	
<b>70 コーポレート・ガバナンス</b>	
社外取締役鼎談	71
コーポレート・ガバナンス体制	76
内部統制	90
リスクマネジメント	90
マネジメント一覧	94
	
<b>98 事業戦略と概況</b>	
営業本部 At a Glance	98
生活産業グループ	
ライフスタイル本部	100
情報・不動産本部	102
フォレストプロダクツ本部	104
食料・アグリ・化学品グループ	
食料第一本部	106
食料第二本部	108
アグリ事業本部	110
化学品本部	112
エネルギー・金属グループ	
エネルギー本部	114
金属本部	116
電力・インフラグループ	
電力本部	118
インフラプロジェクト本部	120
社会産業・金融グループ	
航空・船舶本部	122
金融・リース事業本部	124
建機・産機・モビリティ本部	126
CDIO	
次世代事業開発本部	128
<b>130 企業データ</b>	
財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析	130
事業等のリスク	138
財務データ	148
非財務データ	150
連結財務諸表	152
グローバルネットワーク	160
組織図	162
会社情報	163
IR活動／外部評価	164
株式情報	165



## 関連性の高いウェブサイト掲載情報一覧

統合報告書2021の掲載コンテンツと、特に関連性の高い情報を紹介しています。あわせてご参照ください。

### サステナビリティ

<https://www.marubeni.com/jp/sustainability/>



### IR 投資家情報

<https://www.marubeni.com/jp/ir/>



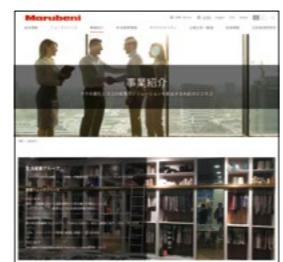
#### 主なコンテンツ

- › サステナビリティに関する考え方
- › 環境 – Environment –
- › 社会 – Social –
- › ガバナンス – Governance –



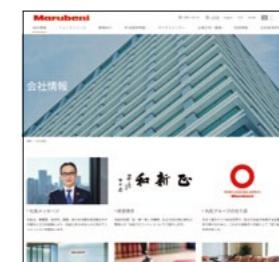
### 事業紹介

<https://www.marubeni.com/jp/business/>



### 会社情報

<https://www.marubeni.com/jp/company/>



#### 主なコンテンツ

- › 経営理念
- › 丸紅グループの在り姿
- › 中期経営戦略
- › 組織図
- › 主要グループ会社一覧
- › 丸紅の歴史



### 編集方針

丸紅グループの統合報告書は、ステークホルダーとのコミュニケーションを図り、広く社会の信頼を得ることを目的としています。丸紅グループの取り組みをより体系的にご理解いただくために、中長期的な企業価値の向上に向けた丸紅グループの在り姿とそれを実現するための戦略、ビジネスを通じた社会的課題の解決について統合報告書としてまとめています。

「統合報告書2021」では、CEOメッセージや社外取締役鼎談において、当社経営陣のメッセージを直接的にお伝えすることを意識するとともに、TCFD提言に基づく情報開示を含めた丸紅グループのサステナビリティに関する取り組み方針についての対応・進捗状況の開示など、非財務情報の開示を拡充しています。

### 報告対象期間

2020年4月1日～2021年3月31日

掲載内容は、一部報告対象期間以前・以後の情報を含みます。

### 参考にしたガイドライン

- ・GRI (Global Reporting Initiative)「サステナビリティ・レポートティング・スタンダード」
- ・ISO26000(国際標準化機構)「社会的責任に関する手引」
- ・VRF(Value Reporting Foundation)「国際統合報告フレームワーク」
- ・経済産業省「価値協創のための統合的開示・対話ガイドンス」

### 将来見通しに関する注意事項

本資料に掲載された予測および将来の見通しに関する記述などは、本資料の発表日現在における入手可能な情報、一定の前提や予期に基づくものです。よって、実際の業績、結果、パフォーマンスなどは、経済動向、市場価格の状況、為替の変動など、様々なリスクや不確定要素により大きく異なる結果となる可能性がありますが、当社は、本資料の情報の利用により生じたいかなる損害に関し、一切責任を負うものではありません。また、当社は、本資料に掲載された予測および将来の見通しに関する記述などについてアップデートする義務を負うものではありません。

### 会計基準に関する注記

2013年3月期までは米国会計基準(U.S. GAAP)ベース、2014年3月期以降は国際会計基準(IFRS)ベースで記載しています。

また、本冊子では「親会社の所有者に帰属する当期利益」を「連結純利益／当期利益」と表記しています。

